



自律・創造

No.9

平成27年
10月9日(金)

10月1日、閉校記念行事として講演会が開かれ、今泉悟校長が「北鹿は宝箱」と題して北鹿地方の特色を紹介しました。講演は午後（全日制課程）と夜（定時制課程）の2回行い、全校生徒のほか、地域の方が合計20人ほど参加しました。今泉校長は「将来故郷を離れても、ここで過ごしたことが原点となる。新しい旅立ちに向かって北鹿地方を見つめよう。」と語りかけました。



今泉悟校長

大館高校閉校記念行事～校長講話

「北鹿は宝箱」

1 北鹿の範囲と行政区分の歴史

1889年（明治22年）の明治の大合併で鹿角郡10町村（町は花輪町と毛馬内町）と北秋田郡32町村（町は大館町と十二所町）となった。これはほぼ現在の小学校の学区が範囲となっていた。66年後の1955年（昭和30年）の昭和の大合併で大館市、鹿角郡5町村、北秋田郡8町村となった。1972年（昭和47年）には鹿角市が誕生した。最後の合併となった2005年（平成17年）に現在の行政区画となった。江戸時代270年間は鹿角地方は南部藩、大館地方は佐竹藩であったが、隣接する地域どうしであったため、人や物の交流はゆるやかに行われていた。

2 北鹿地域の秋田県内での地位

県内では大館市のみにあるのが秋田労災病院（大滝温泉隣接）と秋田職業能力開発短期大学校である。昭和35年には県内24の営林署のうち、花輪、十和田、大館、扇田、白沢、早口、鷹巣、合川、森吉、阿仁、上小阿仁の11の営林署が北鹿の地にあった。現在は樹海ドーム近くに米代東部森林管理局がある。

3 文化の二大潮流

① 営林

国有林を中心とした林業、製材業が繁栄した。早口駅前には東洋一と言われた大貯木場があった。森林軌道が張りめぐらされており、大葛と扇田間の鉄道には客車もついでいて人も乗ってい



秋田杉の林

た。比内の五日市には鉄橋跡がある。その他の場所は広い農道などになっている。北鹿特産の天然秋田杉を材料とした伝統工芸の「曲げわっぱ」は、武士の内職として発達した。今は日本ばかりではなく、フランスのパリなどでも注目されている。

② 鉱山経営

阿仁、大葛、尾去沢、小坂、花岡、釈迦内の大鉱山や多数の中小鉱山が繁栄した。尾去沢は三菱金属工業の、小坂は同和鉱業の「企業城下町」として発展し、国内トップクラスの「技術」と「人材」が流入した。黒いダイヤと言われた昭和40年代の「黒鉱」ブーム時には日本一の生産高を誇った。花岡から鉄道で鉱石を小坂まで運び、精錬を行った。鉱山の製錬技術は、現在の「都市鉱山」から金銀などの貴金属や「産業のビタミン」と呼ばれるレアメタル（希少金属、レアアース、リチウム etc.）を取り出す、国内でも他に例のない優れた技術として受け継がれている。

4 「北鹿」は北東北の中心

地理的にも青森、岩手、秋田の北東北3県の中央に位置し、高速道路の利便性が良いことから物流の中心となっている。

5 これから大切にしていきたい3つの「宝」

①北東北3県の**中心的な位置**にある。

②十和田八幡平国立公園などの、火山活動によってできた国内トップクラスの**貴重な観光資源**がある。

③鉱山経営と営林活動によって発達した**高度な「技」**が受け継がれている。

これ以外にも農産物や天然記念物、さらには花輪ばやしに代表される祭りなどの国指定重要無形文化財などもある。皆さんにはこれらの宝を再確認するばかりではなく、柔軟な発想で新しい産業や観光の資源として活かしていく方法を考えて欲しい。



生徒の感想

たくさんの素晴らしい宝があることがわかったが、それを十分にアピールしているだろうか。他県や県内の人々に紹介することがこれからの北鹿の若者の役目だと思う。
(4年男子)

地元（鹿角市）の歴史について詳しく知ることができて良かったです。また、地元の鉱山や祭りなども紹介されてうれしかったです。
(3年女子)

ただ説明するだけでなく、私たちに問いかけたり、校長先生自身の意見や感想を教えてくれたり、図だけを見せて私たちに考えさせたりと、聞いていて楽しかったですし、わかりやすかったです。今まで暮らしていた地域のことが良くわかりました。(3年女子)